第１回子育て部会議事録

令和元年７月11日（木）午後４時～午後４時50分

出席委員：佐藤部会長、竹島委員、寺町委員、白銀委員、小池委員

欠席委員：吉藤委員、田口委員、吉口委員

１　開会

２　子育て部会長挨拶

３　議題

（１）４計画の進行管理について

　ア　芽室町子ども・子育て支援事業計画の進行管理

イ　芽室町保育基本計画の進行管理

　ウ　芽室町発達支援計画の進行管理

　エ　芽室町放課後子どもプランの進行管理

４つの計画の進行管理について一括で説明を行った。

寺町委員　給食のアレルギー対応は行っているのか。

事務局　保育所の給食および学校給食においては、アレルギー対応食や除去食に対応している。

小池委員　放課後子どもプランにおいて、「児童クラブに入所できない児童を児童館で受入れる」とあるが、保護者から児童館では子どもの様子を支援員に見てもらえないので、できれば児童クラブに通わせたいという声を聞くことがある。児童クラブと児童館の違いとはどのようなものがあるのか。

事務局　今年度に入り、児童クラブの申し込みが定員を超えたため、一時的に児童館でお待ちいただいた経緯があったが、現在はそのような状況は解消し、希望した児童クラブへ入所いただいている。

児童クラブと児童館の違いについては、児童クラブでは出席確認を行う。対

して児童館では高校生まで登録の上出入り自由となっているが、小学校低学年

の児童については、出席や帰宅を確認する場合もある。児童館も担当の厚生員

が宿題をみたり、一緒に遊ぶなど必ず教室について対応している。

また、児童クラブでは行事やスケジュールが決まっており、登録料をいただ

いているが、児童館では登録料がありません。ただ、参加可能な行事について

希望する場合は、費用を負担してもらい参加いただいている。

（２）子ども・子育て支援事業計画（R2策定）ニーズ調査集計報告について

竹島委員　幼児教育・保育無償化の関係。芽室町独自で３～５歳の副食費を無償化すると決まったことは、保護者からも要望があったことで、そういった声に応える形であると思う。町独自の施策として広く周知していただき、保護者が安心して保育所に預けられるようにしてほしい。

事務局　周知については、７～９月の広報誌に掲載するほか、保護者向けの文書の配布を検討している。

白銀委員　放課後の子どもの過ごし方などについて。町内の公園で遊具が使えない状況が多く、ある親子はエコロジーパークまで出かけていると聞いた。身近なところで子どもが自由に遊べる環境づくりを行うことが大切であると思う。

また、今の子どもは習い事などで放課後も忙しく、自由な遊びで育つ環境

がなくなってきているように思う。少年団の対象が小学１年生からになった

ものもあると聞くが、本当に子どもが自ら望んで行っているのか。指導のし

すぎなどがないよう調査も必要になってくるのでは。

事務局　ニーズ調査の中でも子どもの遊び場に関する意見は多い。さきに実施した子

育て関係団体との意見交換（めむろ☆未来ミーティング）でも話題に上がった

ところである。子どもの人数は減っているが、少年団の加入者、団体数は概ね

横ばいであり、子どもの遊び場、放課後の過ごし方について行政としてどのよ

うなことができるか継続して検討していきたいと思う。公園の整備や少年団活

動に関する意見については、担当課にお伝えする。

佐藤部会長　学校等のセキュリティ対策について。以前、報道で不審者が学校に出入りしたということがあったが、町内でもしっかりと対策が必要だと思う。

白銀委員　町内でも過去にそういった事案がありセキュリティについて見直したはずだが、現在学校、児童館などの出入りは比較的甘くなっていないだろうか。時間が経過するにつれて過去の経過を忘れてしまっているのでは。

竹島委員　保育所では基本的に施錠し、チャイムをつけている。事務室にさすまたも

あるし、毎年消防との訓練も実施している。

事務局　各施設において、しっかりと対策をとっていきます。

小池委員　育児ネットめむろで活動しているが、子育てに関するサポートを利用すると料金がかさむとの声がある。少しずつ町の助成も拡大していただいているが、生活に困っていて支援を必要としていても言い出せない家庭があるのではないだろうか。「風の子めむろ」などそうした家庭を発見できるきっかけがあるので、今後も町民の声に寄り添っていただきたい。

事務局　ひとり親家庭や生活困窮などで、実際に支援が必要である家庭は増えてきていると思う。今後、そのような家庭に対し、町としてできること整理していきたいので、引き続き御協力いただきたい。

４　閉会

　午後４時50分閉会となった。